

suGATARIUM: 眺めるファッションコーディネート支援システム

佐藤彩夏[†] 椎尾一郎[†][†]お茶の水女子大学大学院

1 背景

身支度は毎日行う活動で、限られた時間の中でさまざまなことを行わなくてはならない。中でも特に「服装選び」はその日の天気や、行く場所、会う人などがその日によって変わるため、毎度状況を考慮して選択しなくてはならない。また、これらを考慮した上で選択した服を実際に着用してみると、頭の中で想定していたイメージと異なり、再度選りなおすこともある。この活動を毎日行うことは、体力も時間も必要となり面倒かつ非効率的である。また、限られた時間の中で服装を決めるために無難な服装を選びがちになる似たような服装になる。ここでさらに持っている服を活かせないという問題も生じる。

suGATALOG[1]は、毎日の服装の写真を記録し、その写真を用いてパソコン上で服の上下の組み合わせのシミュレーションを行うアプリケーションである。撮影はユーザの鏡に取り付けられたカメラで行い、写真はアプリケーション上に取り込まれる。それぞれの写真は、ユーザが指定したトップスとボトムスの境界線で2枚に切り分けられる。これにより、任意のトップスとボトムスを組み合わせた写真を合成することができる。ユーザが着用した状態の写真を用いるため、服を実際に着たイメージで、手軽にさまざまなファッションコーディネートを行うことができる。

図1はsuGATALOGのメイン画面のUIである。撮影した写真はカレンダー状に表示され、いつ何を着たかを一覧することができる。また、特定の服に対して複数のコーディネートランダムで表示するオートコーディネート機能がある。この機能により、ユーザが今まで試したことのない新たな服の組み合わせを発見できる機会が創出する。しかしながら、これらの機能は、ユーザが積極的に用いないと服装を振り返ったり、新しい服の組み合わせの発見をすることができない。そ

suGATARIUM: A passive fashion coordinate supporting system

Ayaka SATO[†], Itiro SHIO[†]

[†]Graduate School of Humanities and Sciences, Ochanomizu University

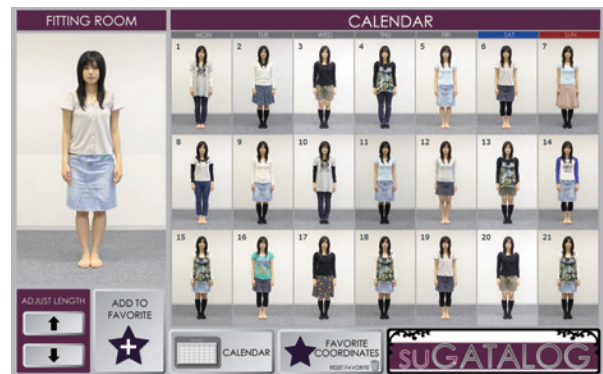


図 1: suGATALOG のメイン画面 UI

ここで、毎日の服装の写真を用いてファッションショー形式で提示し、眺めているだけでこれまでのファッションの振り返りや、新しいファッションコーディネートに出会えるシステム suGATARIUM の提案を行う。

2 suGATARIUM

本システムは、前述したシステム suGATALOG で撮りためた服装の写真をファッションショー形式で閲覧し、さらに自動的にさまざまなコーディネートを表示するアプリケーションである。図2にシステム構成図を示す。それぞれの写真には、着た季節、服の色、服の種類(長袖、半袖、スカートなど)がタグ付けされている。ユーザは、ファッションショーに表示させたい服を設定して絞り込むことができる。

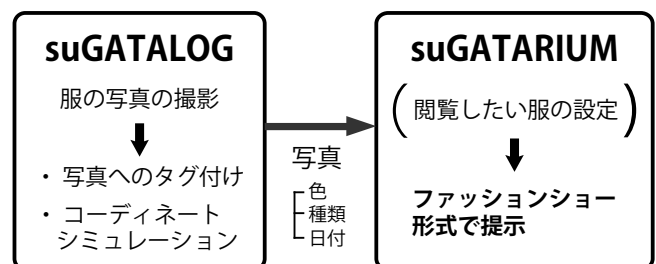


図 2: システム構成図

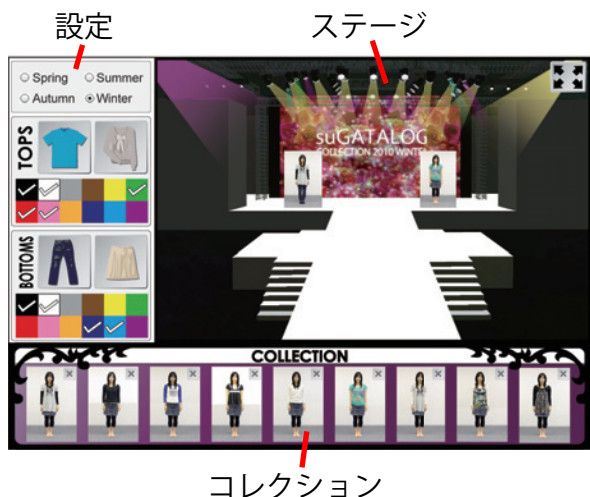


図 3: suGATARIUM の画面 UI

アプリケーションの画面 (図 3) は、「設定」、「ステージ」、「コレクション」の 3 つの部分から構成される。ディスプレイは、タッチパネル式のものをを用いた。まず、ユーザは「設定」部分でファッションショーに出場させたい服の設定を行う。設定は、季節、トップスとボトムスそれぞれの色、服のタイプの 3 項目について行う。ユーザは複数の選択肢を選ぶことが可能で、設定を行わなかった場合は現在の季節の全ての服が対象となる。設定を行ったあと、ファッションショーの開始ボタンを押すと拍手の効果音と共に「ステージ」上でファッションショーが開始される。画面右上の「フルスクリーン」ボタンを押すと、ステージのみを閲覧することが可能である。「設定」で選択した条件に合った写真がランダムに選ばれ、「ステージ」の左右から 1 枚ずつ中央に向かってアニメーションする。ステージの中央に来ると、2 枚の写真が重なりそれぞれのトップスとボトムスが入れ替わる。このように、ユーザは過去の服装を振り返ることに加えて、新たなコーディネート提示も行われる。トップスとボトムスを交換した写真は、出現時と同じ経路をたどってステージの袖へと戻り、また別の写真が設定に応じて出現する。図 4 は、この一連の動作の様子を示したものである。

また、ファッションショーを閲覧している際に気に入ったコーディネートがあった場合、その写真をタッチすると効果音が鳴り画面下の「コレクション」に登録される。コレクションは、追加と削除が簡単に行える。

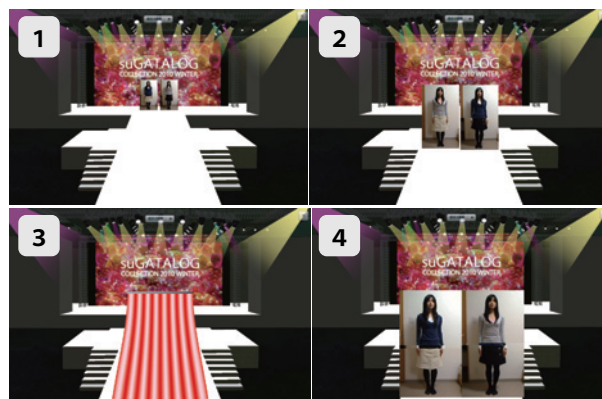


図 4: 「ステージ」の画面推移の様子

3 まとめ

毎日の服装のライフログを用いて、ライフログを振り返りながら、新たなコーディネートの発見もできるシステム suGATARIUM の提案および実装を行った。

ライフログや写真なども含めた多くの情報は、存在を忘れてしまったり、閲覧する機会がないことがある。また、閲覧をしても過去の振り返りにとどまることが多い。suGATARIUM は、過去のデータに演出を加えることで、ユーザが閲覧したくなるような提示を行っている。また、新たなコーディネートの提示も行うことで過去のファッションのライフログを振り返りながら、今後の新しいコーディネートの発見する機会も創出している。

本システムは、日常生活の中の常に閲覧できる場所で起動していることが望ましい。例えば、テレビやパソコンの待機画面や、デジタルフォトフレームのような専用のディスプレイである。日常生活の身近な場所で持続的に情報を提示し続けることで、ユーザにとって有益である可能性を持つ情報に偶然的に接する機会が得られる [2]。今後は、提示場所と方法についてのさらなる検討も行っていきたい。

参考文献

- [1] 佐藤 彩夏, 渡邊恵太, 安村通晃. suGATALOG: ユーザの姿を利用したコーディネート発見支援システム. インタラクション 2009 予稿集, March 2009.
- [2] 渡邊恵太 安村通晃 ユビキタス環境における眺めるインタフェースの提案と実現. 情報処理学会論文誌, 49(6):1984-1992, 2008.